

モーニングブリー
女子言平
掲載

草子大賞 早稲田文学編

作画 玉川重機



草子です！

早稲田文学の3号
出ました！！

今号も
なんと両A面！！

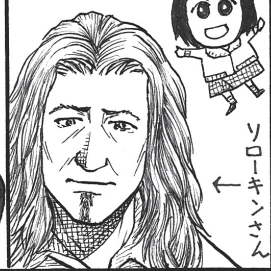
どちらから
楽しめますよ！！

まず一方のA面には
ウラジミル・ソロキンの
「青脂」！！

この物語は2068年、
永久エネルギーを作るための
材料の「青脂」を獲得しようとする
お話なのですが

「青脂」はクローンとして再生
されたロシアの古典・有名作家が
執筆活動を行うと生まれる
という不思議な設定です

- 再生クローン
- トルストイ4号
 - ホフマン3号
 - ボコフスキー2号
 - ドストエフスキ2号
 - パステルナク2号
 - アフマトフ3号
 - ロシアの
文豪オール
スターズ



ソロキンさん

7体のうちのトルストイ4号
こんな事になってしまっています

のうら
ある頭
3倍

せだか
涙ぐんで
は

身長 112cm
体重 62kg

アマゾン
水生蛆虫
みたいな
ヒゲ

トルストイ4号

大きな
隠れる手

これは…

小説を書きあげるとクローンは仮死状態に
入り青脂がたまっていくのだそう

特別付録として古川日出男さん本人による
「聖家族」の朗読DVD200分！！

タイプライター
ソロ
イエー

カチャカチャ
ハチャ

ヘッドホン

黙読と違い朗読は 頭だけじゃなく
体に「言葉」が伝わる気がしました
細胞一つ一つに
「声」が熱として残りました

もう一方の
A面の特集は
ゴドモとの「文学」

草子6才

西原理恵子さんと
重松清さんの
「親子って
なんだらう」
対談や
斎藤美奈子さん
「国語教科書は
「悲劇」がお好き」など
歩き出した「子供」と
立ち止まる事を許され
なくなった「大人」の
間の「文学」の距離が
面白いです

子供と大人の間の
「文学」：
篠山紀信撮影
表紙・グラビアの
東浩紀さんと
娘さんの笑顔が
かもし出す

何とも
言えない
あたたかい空気が
全てを
物語ってる気が
しましたよ

*第23回早稲田文学新人賞選考委員をされました。受賞作・青沼静哉「ほかいど」ものってます！

おまけのお知らせ

「草子ブックガイド」
第2話執筆中！！

モーニング・ツーで
夏にお会いしましょう

青永遠屋

目まぐるしい速さで色んなものが
変身していく時代

情報が窒息しそうなほど
あふれてく

その中から自分にとつて
大切な何かを見つけた
道標に

早稲田文学はなるような気がします

30歳以下の人達で
構成されている
増刊のテーマは
「変身」

生まれた時から
身のまわりに
デジタルが
存在していたで
あろう5人の
作家さんの
それぞれの「変身」、
興味深いです

本も変身の時代？
きちゃった？

そして増刊
U
30
のお知らせも！

表紙は今日草子さんの
透明感のある
掌編漫画。
(連作「転換」
全4作のってますよ)

古川日出男さんの
言葉

「本よ死ぬな。本よ死ぬな死ぬな死ぬな。
死なせないために声に出す。たとえ字が
死んでしまっても。たとえ紙が死んで
しまっても。それでも本がある。
ここにも本がある。」

おしまい